

平成26年度施策評価調書

整理番号	8
評価担当課	健康福祉部社会福祉課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	生活環境等整備の充実(2-6-4)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	6	障がい者福祉の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	市民一人ひとりが快適な生活を送れるよう、公共建築物をはじめ民間の建築物についても事業者の協力を得ながらユニバーサル・デザインを取り入れ、障がいのある方や高齢者が、安全に街でふれあうことができるやさしいまちづくりを推進していきます。また、災害時に備えた防災・援護体制の整備を進めるとともに、関係機関との連携強化を図ります。障がい者が自己能力の開発や生きがいづくりのための、スポーツやレクリエーションに参加しやすい環境整備に努めます。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	障がいのある人の社会参加を促進するため、公共交通機関の割引やハイヤーチケットの配布、市内路線バスの運賃割引に取り組んでいます。
施策の課題	障がいのある人や高齢者が、まちなかでふれあうことができるやさしいまちづくりのためには、交通手段の確保や積雪寒冷地から雪対策が課題となる。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
障がい者(児)ハイヤー料金助成	ハイヤー料金助成件数	目標値	-	-	-	
		実績値	9,353	9,298	8,705	
		進捗率				
グループホーム、ケアホーム整備事業	グループホーム、ケアホームの改築への助成件数	目標値				
		実績値	1	2	2	
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	障がい者が安心して日常生活を送るためには、経費負担が重要であり「ハイヤー料金助成事業」「精神障害者市内バス路線割引証明書交付」は有効性の高い事業であり、達成度は概ね順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

障がい者の社会参加を促進するため、今後も事業を継続していく。

6 ワーキンググループの意見等

ユニバーサルデザインなど、生活環境の改善に向けたさらなる施策展開を。

7 外部評価の意見等

—

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)